

これからを自分らしく生きるために・・・

「もしものとき」について話し合おう

ACP手引き

あなたにとって

大切なことは？

あなたが受ける

治療やケアの希望は？

あなたの代わりの判断は

誰にして欲しい？

「もしものこと」を考えたことがありますか？

心の余裕がある時に、じっくりと考える時間を持ち、

そして、あなたの考え方を大切な人に伝えてみませんか？



公益財団法人甲南会 甲南医療センター



アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは？

もしものときに備えて、あなたが大切にしていることや望み、受けたい医療やケアについて、ご自身で考え、ご家族など信頼する人や主治医をはじめとした医療者とともに話し合うことを言います。

最期まで、自分らしく穏やかに生きるために、もしものときを考えてみませんか？

★ ACP: Advance・Care・Planning



いつから始めればいいのか？

誰もがいつ、もしものときを迎えるかは分かりません。そのために今のうちから大切な人や医療者とあなたの思いや希望を考えておき、それらを伝えることであなたが自分の意思を伝えたり、判断できない状況になったときにあなたや家族の負担が軽減されることもあります。

現在、医療や介護を受けている方は、あなたの思いや希望にそった最善の選択ができるように、医療者とともに相談しながら考えてみましょう。分からないことがあれば、院内には相談に対応する看護師もいますので、患者相談窓口までお声掛けください。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）には、
法廷的な意味合いや拘束力はありません。
健康状態や環境の変化、気持ちの変化によって
いつでも、何度でも考え直すことができます

病気になったり介護が必要になったとき、あなたはこれからどのように暮らしたいか、病気への治療やケアに対する考えをお書きください。

アドバンス・ケア・プランニングシート

記入日：____年____月____日

♥ あなたにとって大切なことは？

Q. あなたの人生で大切にしたいことは何ですか？

Q. これからどのように暮らしていきたいですか？

Q. もし残された時間に限りがあるとしたら、あなたにとって大切なことは何ですか？

- ☐ 家族や大切な人との時間を大事にしたい
- ☐ できるだけ身のまわりのことは自分でしたい
- ☐ 趣味など楽しみを大切にしたい
- ☐ 仕事や社会的な役割を続けたい
- ☐ 悪いことも含めて、先々に起こることを詳しく知りたい
- ☐ 自分のことは自分で決めたい
- ☐ その他：

★ あなたが受ける治療やケアの希望は？

考えたくないことですが、あなたが病気になったり、大きな怪我をしたときについて、あらかじめ心づもりをしておくと、もしものときに安心です。

Q1. もしも、怪我や病気が進み、「残された時間が長くないかもしれない」と感じる状況になった時、どのように考えますか？

- ☐ 1日でも長く生きられるように治療を続けたい
- ☐ 期間を決めて治療を受けてから、そのあとにもう一度考えたい
- ☐ 痛みや苦しみが和らげるための十分な処置や治療を受けたい
- ☐ 命が短くなる可能性があるが、延命は考えず、穏やかに過ごしたい
- ☐ その他：

Q2. もしも、病気や障害などにより他者からの介助が必要な状況になったとき、どこで、どのように過ごしたいですか？

● どこで？

- ☐ 自宅
- ☐ 病院
- ☐ 施設
- ☐ わからない

● どのように？

- ☐ 食事やトイレなど最低限自分でできることはしたい
- ☐ 家族などに手伝って貰いながら生活したい
- ☐ 家族に迷惑を掛けたくない
- ☐ その他（ ）

Q3. もしも、病気が進み、残された時間が少なくなったときに過ごしたい場所はどこですか？

- ☐ 自宅
- ☐ 病院
- ☐ 施設
- ☐ その他（ ）
- ☐ わからない

✂ あなたの代わりに治療/ケアの判断を依頼したい人は？

もしも、病状が進み、物事の判断がしづらくなったり、意識が薄れた場合など、あなた自身が判断したり、希望を伝えることができなくなったとき、あなたの代わりに医療やケアの判断をして貰いたい人を考えておくことは大切です。

Q. あなたの代わりに医療者と話し合っ欲しい人は誰ですか？

- ☐ 配偶者（夫・妻）
- ☐ 友人（ ）
- ☐ 子ども（ ）
- ☐ 代理人（ ）
- ☐ 親戚（ ）
- ☐ その他（ ）



あなたの思いや考えを自由に書いてみましょう

